



生育初期の管理

(大豆栽培は最初の作業が肝心です！)

※管理のポイント (出芽～生育期)

1. 中耕培土 ～収量・品質向上は出芽後の環境整備から～

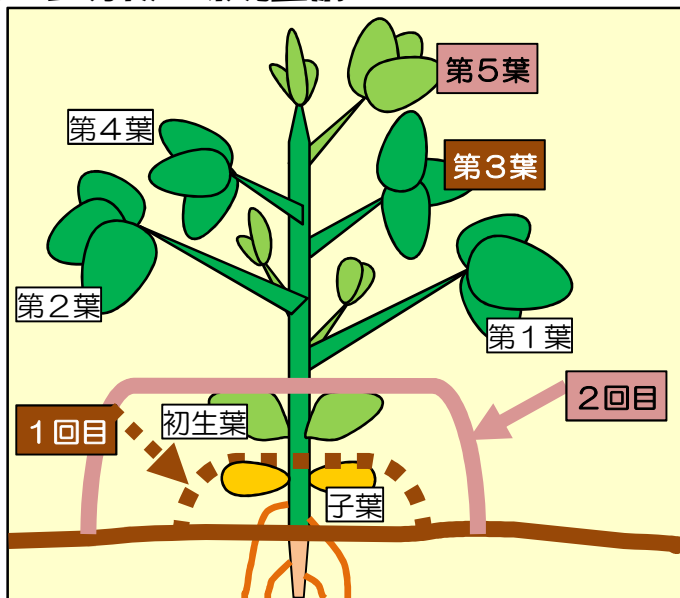
①中耕培土の効果

排水性・通気性の向上
株間の雑草防除
発根促進による倒伏防止

②時期を逃さず実施

- 1回目 本葉3葉期
(播種後20日頃)
- 2回目 本葉5葉期
(播種後30日頃)

***時期が遅れると大豆の根を傷付けます！**



2. 大豆生育期の雑草防除 ～居残る雑草を一掃しましょう！～

①除草剤は雑草に直接かかるよう散布

②散布は「大きい雑草」基準で実施 *油断すると効かなくなります！

薬剤名	使用時期、収穫前日数制限	散布量/10a	対象雑草
ポルトフロアブル	雑草生育期 (イネ科雑草の3～10葉期) 但し収穫30日前まで	200～300ml (水100L)	イネ科
大豆バサグラン	大豆2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～150ml (水100L)	広葉雑草

*アサガオ類、ホソアオゲイトウが多い場合は

「アタックショット乳剤」+「大豆バサグラン」の体系処理が効果的

(大豆バサグランは、アタックショット乳剤の約7日後に散布)

アタックショット乳剤	大豆2葉期～開花前 (雑草の生育初期、播種後約14日目) *大豆バサグランより先に散布	30～50ml (水100L)	広葉雑草
-------------------	--	---------------------------	-------------

3. ハスモンヨトウ対策 ～見つかったらその時すぐ防除！～

①白変葉を見たら圃場外に持ち出し処分 *幼虫の拡散を抑えられます

②速やかな防除が被害防止の第一歩 *増え始めたら止まりません！

薬剤名	散布量/10a (水100～300L)
プレバソンフロアブル5	25ml (水100Lの場合)
トルネードエースDF	50g (水100Lの場合)